

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分市しらゆりハイツ
------	------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和6年2月15日

③事業者情報

名 称：大分市しらゆりハイツ	種 別：母子生活支援施設
代表者氏名：施設長 内藤靖宏	定員（利用人数）40世帯（16世帯 44名）
所在地：〒870-0815 大分市南春日町4番40号 TEL：097-545-9502	

④総評

◇評価の高い点

【支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】

支援の質の向上については、毎月末開催する管理者参加の全体会議。毎月上旬から中旬開催の母子支援員、少年指導員会議。毎月中旬に開催の母子支援員、少年指導員、心理療法担当職員による支援会議。OJT、OFF-JT、スーパーバイザーによる課題解決が組織的に行われている。

【地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。】

主な活動として、退所後、施設近隣に居住するOB家庭への支援に取り組んでいる。活動例としては、経済的困窮等抱える家庭へ民間事業者が行う食品等支援のつなぎを行うことや不登校児家庭への訪問支援、問題行動時の支援などアウトリーチを行い伴走支援が行われている。

【支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。】

特に、配慮が必要な母親・子どもについては、支援の内容に関しては、段階に応じて、一つひとついねいに説明を行い、主体的な自己決定を尊重している。同意を得た内容は施設、利用者双方が書面で残している。

【母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。】

退所時に、今後必要になるであろう関係機関には必ずつなげている。退所後も必要時はカウンセリングを行うなど子どもとの関りの継続や、フードバンクや子ども弁当の情報なども伝え、アフターケアにつなげている。

【被虐待児に対しては虐待に関する専門性をもってかかわり、虐待体験からの回復を支援している。】

個別のケースに応じた支援に取り組み、子どもに寄り添いながら対応をしている。また心理士によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。必要時は医療や関係機関と連携して支援の方向性の共有を図っている。

◇改善を求められる点

【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

高い支援を実現するためには、必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針について担当課含め関連部局との協議を希望する。

【母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。】

自己評価において、プライバシー保護に関する規程・マニュアル等の整備やプライバシーに配慮した支援については、改善課題があるとしていることから、今後施設が新しく建設されることにあわせて、配慮されるプライバシー保護について、規程・マニュアル等を改訂等整備することを期待する。

【母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。】

今後はDV 被害者や虐待事例に、緊急発生時すぐに受け入れができるよう 24 時間の支援体制が望まれる。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価調査員の方が丁寧に時にアドバイスを加えながらヒアリングしてくださり、リラックスして評価に臨むことができました。おかげで質問にお答えしながら自ら再確認できたり新たに気づくこともあり大変ためになりました。改めて気を引き締め今後の業務に当たってまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）